

## 1 東京ゼロエミ住宅の建築に対する助成

（現行基準の助成額） 令和6年度も令和5年度と同額の助成

	水準1	水準2	水準3
戸建住宅	30万円/戸	50万円/戸	210万円/戸
集合住宅等	20万円/戸	40万円/戸	170万円/戸

（新基準の助成額）

	水準C	水準B	水準A
戸建住宅	40万円/戸	160万円/戸	240万円/戸
集合住宅等	30万円/戸	130万円/戸	200万円/戸

【基準と助成金の適応関係（予定）】

- ✓ **令和6年9月30日までに設計確認を申請**  
⇒ **現行基準で認証し、現行の助成額を適用**
  - ・令和6年4月から現行どおり申請受付を開始
  - ・現行の助成金の申請受付は、**令和6年12月末まで**
- ✓ **令和6年10月1日以降に設計確認を申請**  
⇒ **新基準で認証し、新たな助成額を適用**
  - ・新たな助成金の受付は、令和6年10月から開始
- ✓ その他太陽光発電設備、蓄電池、V2Hに対する助成については、大きな変更なし

## 2 東京ゼロエミ住宅の「手引き」の作成

【目的】

東京ゼロエミ住宅の建築や居住にあたって参考となる「手引き」を作成し、より高性能な住宅の建築や快適かつ省エネルギーな居住を促進

【内容】

- ・設計・建築にあたって参考となる、新水準に適合する住宅の仕様例や留意事項等をまとめた手引書
- ・手引書を補完する、実際に建築された住宅の特徴や仕様、建築コンセプト等をまとめた事例集
- ・実際に住んでいる人のデータの収集・分析結果や都民が実際に住むにあたっての注意点等を記載

## 3 CADソフトの改修支援

【目的】

CADソフトを活用して東京ゼロエミ住宅の設計等を容易に実施できる環境を整備

【支援対象】

東京ゼロエミ住宅の設計等を容易にする機能を追加するCADソフト開発事業者に対し、ソフトの改修費用を支援

（機能例）

- ・断熱・省エネ設備例をプルダウン形式で選択
- ・認証審査機関への提出書類等を自動で作成

※令和6年3月31日までに、東京都議会において令和6年度予算案が可決・成立する必要があります。